

## 10101肉製品、乳製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	10~11	食肉生産課工場内において、鶏カット作業中に、原料の鶏ムネ（1ケース12.0kg）を冷蔵庫からまな板まで両手で抱えて運搬中、床面で滑り、背面に転んだ。その際、支えるために着いた左手首を骨折した。	70	2	417	300 ～ 499
2	2017	12	16~17	手羽計量機の袋補充作業中に、袋を置く場所にビニール袋を置く際、左薬指がアーム作動中にカバーに挟まれた。	35	7	169	300 ～ 499
3	2017	12	12~13	トラックからみかんを積んだパレットを3台降ろしていた。最後の3台目を降ろす際、リフトが上がりきっていなかったため、トラックのハッチとリフトの間に段差ができ、パレットを引き込んだときにパレットが傾いた。一時は支えたが重量に耐えられず、パレットの下敷きとなった。	42	5	611	300 ～ 499
4	2017	12	11~12	被災者は、工場のホーム上で、懸鳥の終わった空カゴの清掃をした後、下に降りて、消毒後のカゴをホームの上から下に降ろす作業中に、地面が凍結していた為、足を滑らせ後ろ側に転倒し、体を支える為に左手を地面について骨折した。	39	2	416	100 ～ 299
5	2017	12	10~11	当社作業場構内において、鶏を積んだトラックが到着したので、懸鳥ホームに報告と確認をするため、休憩室を出て、外を移動していた時、コンクリート地面が凍っている事に気づかず、滑って転倒し、右足首を骨折した事故である。	36	2	417	30 ～ 49

6	2017	12	13~14	作業室でスキナーを使い、右手と左手で豚頭を押さえ、頭の皮ムキをしていた時、誤って右手小指の外側の皮をはいだ。	65	8	165	50 ~ 99
7	2017	11	11~12	汚水処理施設において、No.1沈殿槽のふちを伝い側溝の清掃を動噴を使って行っていた際にバランスを崩し足を踏み外して、約3.2m下のセメント面へ落下し右上腕・腰部を強打した。	33	1	418	300 ~ 499
8	2017	11	11~12	作業場内で、商品を袋詰め中に右腕をひねり、痛めた。	54	19	529	100 ~ 299
9	2017	11	17~18	所属事業所クリーンルームの前室にて、作業終了後一旦前室を出たが、忘れ物に気付いたため前室へ再度戻った時、前室の開き戸に背を向け左手を蝶番側へ置いてしまったため、扉が閉まり左第3、4指末節が挟まり病院へ受診となった。	39	7	419	30 ~ 49
10	2017	11	12~13	食肉スライサーを移動するため台車に載せて運んでいたところ、敷居を越える際に機械が横倒しとなり、左手薬指を挟んでしまい骨折した。	75	7	612	1~ 9
11	2017	11	17~18	当社工場内にて食肉用牛肉納入作業中、牛肉半頭（長さ2m、重さ220kg）を加工場へ移動させる為、トラックから牛肉を天井吊り下げホイストチェーンフックに牛肉を掛け、押したところフック上のチェーン（鎖）が切れ地面にフックごと牛肉が1m高から落下し、跳ね返った牛肉が強く首に当たりフックの根元が頭に当たり負傷したものである。	37	4	211	10 ~ 29
12	2017	11	14~15	合材工場において、ダンプの荷台で合材にシートを掛ける作業が終わりダンプから降りる時、ステップから滑り落ちた際、右膝を強打負傷したものである。	64	2	417	100 ~ 299
13	2017	11	19~20	構内下請自社工場内において所定労働時間内通常業務中、ラックに製品を納め持場へ戻る為、扉を閉めようとして壁際に設けられたL鋼に躓き転倒する際に、前方に倒れたため両腕を体の重	47	2	417	100 ~

				みで負傷した。				299
14	2017	11	18～ 19	会社の裏にある駐車場において、終了業務にあたる車のカギを取ろうとした際、暗闇だったこともあり、誤って足を滑らせ、地面に強く手をつき負傷したものである。	61	2	417	10 ～ 29
15	2017	11	11～ 12	本社食肉加工場において、鳥モモ肉（15cm位）の塊を包丁で切断をしようとしていた。本人の不注意により、包丁の刃でなく、包丁の背が接していたことに気付かずに切断しようとした。切断出来なかったため、上向きにあった刃を背だと思い左手で押し付けた為に、左手人差し指を負傷した。	50	8	364	30 ～ 49
16	2017	10	18～ 19	工場生産加工室において、ウインナーの加熱台車をシャワー室に搬送途中で高圧洗浄機ホースを踏み、体勢を崩し、左手で台車にさわりながら転倒した。その際、左手中指を切傷した。	47	2	362	100 ～ 299
17	2017	10	17～ 18	ハンドソーで肉のカット作業中、肉を押さえていた手が滑り、ハンドソーの刃に左手中指を接触させ負傷した。	20	8	165	100 ～ 299
18	2017	10	18～ 19	3課4係の加熱ゼネレータ付近で作業していた際、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し、開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	2	416	500 ～ 999
19	2017	10	16～ 17	工場1階加工室内にて作業終了後の清掃作業中に、ギャラクシーとミンチラインの間を通った際に、清掃中で床が水で濡れ滑りやすくなっており、又、接続配線コードに足が掛かり前向きに転倒した。転倒した際、右手、右肘を床についた為、右肩を脱臼し、その弾みで額を床に打ちつけて切傷した。	67	2	379	100 ～ 299
20	2017	10	7～8	従業員専用駐車場より会社へ向かう途中、急いで車道を渡り、歩道を渡り終えて旧工場敷地内の通路に入った直後、転倒し、左手をついてしまったため、左手人差し指ならびに中指を骨折	55	2	417	300 ～ 499

				した。				
21	2017	10	8～9	工場内で、冷凍スライサーでの作業を終えた際、機械が完全に停止する前に触れ、右手を負傷した。	34	7	165	30 ～ 49
22	2017	9	15～ 16	フライヤーラインの粉付け機の清掃時、投入口に残った粉をスクリュウコンベア下部に落とそうと、右手で投入口を叩いている時に、右手が滑り、横送り回転羽と投入口カバーの間に右手首が挟まった。	56	7	162	100 ～ 299
23	2017	9	12～ 13	工場の梱包室内で、他作業者が当人の背後を通過する際に、当人と接触した、当人は前側に転び、右膝を地面に着いた、接触者の声かけ等が不十分であった。	66	2	911	50 ～ 99
24	2017	9	16～ 17	被災者は、冷凍庫内でフォークリフトによる収納作業中、床の一部がアイスバーンになっていることに気付かず、フォークリフトをバックさせた際（原料肉運搬中）ブレーキをかけたが止まらずに反射的に左足をフォークリフト外に出してしまい、原料肉（ダンボール）とフォークリフトの間に左足が挟まり、左足足首を粉碎骨折した。	39	7	222	50 ～ 99
25	2017	9	9～ 10	当社ハムソーセージ工場スライス室において、空になった台車を運搬している時に、冷蔵庫の角と台車が激突し、そのはずみで左手小指が冷蔵庫の角と台車の間にはさまれ、左小指開放性粉碎骨折となった。	39	7	362	50 ～ 99
26	2017	9	10～ 11	第2工場加工室において、作業台の樹脂製のまな板（大きさ約横90センチ×縦180センチ、重さ約80kg）を使い、次に作業台を使おうとまな板を一人で動かしていたとき、誤って落としてしまい、左足を負傷した。	24	4	379	10 ～ 29
				食品加工工場内でキャスター付給水ポンプを手で押して移動させていたところ、床面のはがれた窪みにキャスターが引っかかった、抜け出そうと手で押したり引いたりしていたところ				50

27	2017	9	11～ 12	キャスターのナットに緩みがあったため、キャスターのボルトが1本架台から抜け落ち、架台が傾き右足の指の付け根付近を直撃した。この時、ポンプが重量物であったため、挫創骨折した。	39	6	362	～ 99
28	2017	9	9～ 10	事業所内に於いて、冷凍庫よりサンテナ搬出時、冷凍庫前のスロープで滑り後ろ向きに転倒し、腰と後頭部を強打し負傷した。	69	2	417	30 ～ 49
29	2017	9	14～ 15	休憩後生産室に向かう途中、共用エリア（生産室入口下駄箱前）の階段を下りる際に、残り2段目付近で足がつかず転倒し、床面に手首と顔面を打ちつけた。	58	2	413	100 ～ 299
30	2017	9	14～ 15	現場にて機械の掃除中に、機械のローラーが回らなかった為、機械の台の部分に自分の右腹部を寄せて、体重を利用し、そのローラーを回そうとしたところ、右腹部を痛めてしまった。	62	19	163	100 ～ 299
31	2017	9	18～ 19	事業所内の原料冷凍庫内にて、翌日の準備作業の為原料運搬中、足を滑らせて転倒し右手をつき、右手小指付け根付近を亀裂骨折する。当日は痛みを我慢しそのまま帰宅、翌日手首が腫れた為受診する。	59	2	416	30 ～ 49
32	2017	9	16～ 17	会社施設内第2工場清掃作業中、バケットコンベアの汚れを拭こうとした際、汚れている位置が高く手の届く範囲ではなかったため、その場でジャンプし、ダスターで瞬間的に汚れを拭き取ろうとしたところ、バケットコンベアのカバー部分に右手薬指と小指の間を強打し、着用していたゴム手袋も切れ、裂傷した。本来であれば踏み台を利用して作業することになっていたが、汚れ部分が小さかったため、踏み台を用意する時間を短縮しようという本人判断があった。	60	3	165	50 ～ 99
			9～	学校給食室で、おかずの具材であるごぼうを、野菜裁断機で切り終え、停止ボタンを押してから、左手で刃の部分にたまった				30

33	2017	9	10	皮を除こうとして、野菜投入口に差し入れたが、刃の回転は完全には停止しておらず、左手人指し指及び中指の爪の部分を負傷した。	59	8	165	～ 49
34	2017	9	8～9	朝通勤時、当社敷地内の駐車場より徒歩で社屋へ向かう途中、バランスを崩し左足に痛みを感じ負傷した。	43	19	417	10 ～ 29
35	2017	8	8～9	三日月カッター（刃物）で開腹作業中、誤って左手親指の付け根を切り損傷した。	25	8	364	100 ～ 299
36	2017	8	18～ 19	集合部Sラインのローラーコンベア及び中間バケット付近を清掃する作業中に、中間バケットの奥が卵黄等で汚れて届かなかったため、ローラーコンベアの上に跪いて乗り、清掃を行おうとしたとき、コンベア上で滑り、約80cm下の床に右手から落下し、右手を負傷した。	60	1	224	100 ～ 299
37	2017	8	13～ 14	養鶏場での仕入作業中、被災者は、鶏舎の2階外壁にある扉（高さ約3m）から、鶏を入れたかご（横約70cm、縦約50cm）をフォークリフト（鶏舎に横付け）を使用し、地上にあるトラックに積み込む作業をしていた。フォークリフトには、かごを滑りやすくするために油を塗ったパレット（横140cm、縦160cm）をのせ、その上にかごを2列に7段ずつ積み込んでいた。しかし、かごの滑りが悪かったため、パレットに右足を掛けて積み込もうとした。その際に、油で滑りやすくなっていたため、右足が滑り、そのまま地面に落ち負傷した。	26	1	222	10 ～ 29
38	2017	8	11～ 12	当社カットセンター内の作業場にて、枝肉を小割にする作業中、レールに吊るした枝肉を真下方向に引いて作業するべきところ、誤って斜めの方向に引いてしまい、枝肉がレールから外に落下し、右手を負傷した。	58	4	529	50 ～ 99
				会社工場で、鶏肉の手羽を切り落とす作業をしていたときに、				30

39	2017	8	9～ 10	誤って、右手に持っていた出刃包丁で、左手親指の付け根部分を刺した。	51	8	364	～ 49
40	2017	8	17～ 18	工場内の冷凍庫の中で後片づけをしているとき、食肉加工品を棚に片付け、出口に向かおうと歩いていたとき（長靴着用）、通路で滑って転び、左足膝を通路のコンクリートの床についたときに負傷した（左膝蓋骨骨折）。	69	2	417	1～ 9
41	2017	8	12～ 13	同社作業場にて、フルオートラインの腕コンベアーで牛肉のパッキング作業中、コンベアー下部に肉が溜まってしまったため、除去しようと左手を入れたところ、稼働中のお腕と接触し負傷した。	47	7	224	50 ～ 99
42	2017	8	17～ 18	派遣先事業所において、ブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。	32	6	362	100 ～ 299
43	2017	8	15～ 16	冷凍等バルクアイス手取充填場で、充填後の2?カップアイスに蓋をし、コンベアに乗せる作業時に、作業台下のバケット台車に足を引っ掛けて転倒し、右足首を骨折した。	68	2	391	100 ～ 299
44	2017	8	16～ 17	工場の冷凍庫内で肉（10kg）入りバット（入れ物）を目線高さに重ねてあったバットの上に載せようとしたらきちんと載せきれなくて持ち上げたバットが落ちてきた。そのバットを受け止めようとしたが、そのバットでバランスを崩し転んだ。その拍子にコンクリート床に右手を付いた。	65	4	379	10 ～ 29
45	2017	8	10～ 11	加工場内に於いて加工した肉をつかんだ際、下にナイフがあることに気づかず右手薬指第一関節を切った。	79	8	379	10 ～

									29
46	2017	7	9~10	当社工場内にてフライヤーに継ぎ足す用の一斗缶油を取りに行った際、長靴が滑って転倒し、顎から床に打ちつけ前下歯ぐきを強打し、下顎を骨折した。当日はそのまま仕事を継続したが、夕方になり体調が悪くなった。	25	2	417	50 ~ 99	
47	2017	7	10~11	豚の放血がきちんとできているかを確認するため、頭落とし作業をしている従業者の左側（次工程とのスペース）に立ち、頭落とし後の豚の胸を開いて確認しようとしたところ、被災者の右側で頭落としをしていた従業者のナイフが被災者の右腕に当たり切創した。	62	8	379	50 ~ 99	
48	2017	7	11~12	アイスクリーム製造・バイターラインB2カートナーの業務に従事中、充填機とカートナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴ったため、確認・復旧のため、歩行中の方向を転換し、接続部に移動しようとした際、バランスを崩し左足に体重がかかり左足を捻った状態で転び骨折した。	43	2	417	100 ~ 299	
49	2017	7	13~14	豚肉のウデを解体中、肩甲骨の骨を取るときに、肩甲骨の骨を浮かせるために、長さ約40cmの棒を右手に持って肩甲骨の裏に挿し、左手で肉を向こう側へ押したとき左手首がギクツとなった。手をブラブラさせたりして、痛かったが様子をみながら作業を続けてその日は最後まで仕事をした。自宅で塗り薬を塗って翌日出勤したが、傷みが治らないので早退した。	56	19	921	50 ~ 99	
50	2017	7	14~15	工場内鴨解体作業において右手に包丁を持ち流れて来る鴨の解体処理作業中、誤って包丁が左人差指の付根にあたってしまい切傷負傷したもの。	55	8	364	10 ~ 29	
51	2017	7	14~15	工場内にて、被災者がスライサーに右手を差し入れ残存した端材を取り出しているとき、盛り付け担当の別の従業員が気が付かずに稼働させたため、右手人差し指先端を受傷した。当日は勤務を切り上げた。	35	8	169	100 ~ 299	



52	2017	7	7~8	洗濯物の集荷中、階段の2階から、集荷物を投げ下ろしていたところ、投げた際に左腰に激痛が走り、そのまま動けなくなった。すぐに救援を呼び、通院することとした。	39	1	231	1~9
53	2017	6	17~18	鶏卵を洗卵・選別する工場内で、一日の作業が終わり、シューズを履き、機械等の掃除中、機械の天板の蓋を外すために、高さ52cmの脚立に立っている時に足を踏み外し、脚立から落下した。その際、体を支えようとした左腕の手を床面に強打し、左手首を負傷した。	60	1	371	50~99
54	2017	6	14~15	台車（空の状態）を移動させる作業中、後ろ向きで台車を引いて移動させたため、後方の視界が確保できず、左手側の壁に接触し、左手が台車と壁の間に挟まり負傷してしまった。	24	7	362	50~99
55	2017	6	18~19	弊社第一工場内の作業台で、スライサーの清掃作業中に手が滑り、右手薬指第一関節から第二関節部分と、中指第一関節から第二関節部分に、スライサーの刃が当たり切創した。	31	8	165	50~99
56	2017	6	11~12	当社工場内において、午前中の食肉加工業務終了後、床（コンクリート）をホウキで清掃中、作業台（ステンレス製、高さ40cm×幅50cm×50cm）に気付かず、左大腿部を強打し転倒した。（左大腿部骨折）その際、床で左肩を打ちつけ、打撲負傷をした。	45	3	419	30~49
57	2017	6	11~12	作業場において、梱包した商品をカゴ車に載せ終わった後、カゴ車を冷凍庫へ搬入する際に、冷凍庫の入り口の金具の部分とカゴ車に挟まりそうになり、回避する際に指と手首が挟まり負傷した。	43	7	362	10~29
58	2017	6	10~11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	7	165	100~299
			17~	作業場内で洗浄した機械の部品を、台座にコンテナを乗せた状				100

59	2017	6	18	態で、床を滑らせて移動中にバランスを崩し、直す際に足が滑り、左膝を床に打った。	22	2	417	～ 299
60	2017	6	10～ 11	第一工場赤肉処理にて、包丁でタンの皮むきをしていた時、早く処理をしたい気持ちもあり、左手、手の平小指付根付近に包丁の先端が当たり、切ってしまった。	68	8	364	50 ～ 99
61	2017	6	16～ 17	冷蔵庫でガラの入っているカゴを持ち上げようとした際、右肩に痛みを感じた。	65	19	921	—
62	2017	6	11～ 12	会社食品加工場内において、南瓜カッターで肉を切断中、添えていた左手の親指を誤って切り、負傷したものである。	48	8	364	30 ～ 49
63	2017	6	7～8	当工場において、鶏肉の味付工程にてマッサージャーを使用した際、マッサージャーの重い蓋を1人で数回、上げ下げを繰り返した。当日は痛みもなく帰宅したが、翌日になり右肩が上がり、痛みもあることから受診した。	28	19	921	50 ～ 99
64	2017	5	11～ 12	豚肉の加工場内で、両手で原料の入っているタンクを引っ張っていたところ蓋が外れて、そのはずみで積んであったプラスチック製のカゴにぶつかり、腰と脇腹を強打した。当初は少しの痛みだったが、痛みが増し、立ち上がる時に激痛が生じた。	64	3	611	30 ～ 49
65	2017	5	20～ 21	脚立に登ってフリーザー内の霜取りを行った後、脚立の3段目から2段目に降りる際に足を滑らせ、左足を捻ってしまった。	41	1	371	100 ～ 299
66	2017	5	11～ 12	当日に製造室内の床清掃中、バケツとモップを持って移動するため、製造ラインのコンベヤーの下を屈んでくぐった際、右膝に違和感を覚えた。当初は特段の異常は無かったが、その後、痛みが出た。	48	19	224	100 ～ 299
67	2017	5	17～ 18	タンの皮むき機周辺で清掃中に、歯を外して持った時に、手を滑らせて、足で支えようとしたところ、歯の向きが下になり、	69	8	169	10 ～

				太ももを切った。				29
68	2017	5	17～ 18	羊肉の加工処理を終え、包丁を洗うため左手に包丁を持ち右手スポンジで洗っている時、誤って手を滑らせ右親指に裂傷を負った。親指を動かすと少し出血し、右長母指伸筋断裂と判明した。	57	8	391	10 ～ 29
69	2017	4	10～ 11	ムネ解体機ササミ採取ライン上にてササミ採取作業中に、右手が機械内部に巻き込まれ、右手中指指先を切断した。安全措置を通り越し、機械内部へ手が入り込める構造であったことと、作業に追われ機械内部に近い位置で作業を行っていた可能性が考えられる。	56	7	165	300 ～ 499
70	2017	4	17～ 18	廃棄物をフォークリフトで所定のゴミ置場まで運搬し、高さ145cmの運搬用コンテナに投入しようとしてコンテナ上部の淵（幅8cm）に登って作業していたとき、バランスを崩して地面に落下した。直後巡回中の従業員に発見され、本人の状態を確認したところ意識ははっきりしており、体が動かないと本人から話があり救急搬送された。作業時にヘルメットは着用していたが紐をしておらず、また、安全靴を履いていたが、サンダル履の状態であった。	61	1	611	50 ～ 99
71	2017	4	13～ 14	被災者は、お湯でボウルを洗浄しようとしていた際、水と蒸気のレバーの開閉を確認すると水（閉）、蒸気（開）になっていた。この状態でお湯が出ると勘違いしワンタッチレバーを開けたため、ホースから蒸気だけが排出され、ホースの末端が置かれていた右足首付近に噴き出し、右足首に火傷を負った。	24	11	391	300 ～ 499
72	2017	4	14～ 15	工場の包装室にて、味付ゼンマイ包装作業終了後、未計量分のゼンマイが惣菜包装機（ONP205）部品内部（バケット）に残っていた為、バケットを取り外そうと脚立に乗った。取り外し作業をしている際に足元が滑り、体のバランスが崩れて体をひねる様に落ち、横にある作業テーブルに右胸を強打した。	61	1	371	100 ～ 299

73	2017	3	10~11	<p>第1工場にて、冷凍製品保管のためリーチフォークリフトに乗り製品倉庫奥にある製品冷蔵庫へ向かい、冷蔵庫の電動扉を開けた。リフトごと冷蔵庫内に2メートルほど進入し、冷蔵庫の先にある製品冷凍庫の扉を開けるためリフトを降車した。冷凍庫の扉を開けたあとリフトに戻る際、天井からぶら下げている冷蔵庫の扉を開閉させる紐が体に引っ掛かり引っ張ってしまい、扉が閉まってしまった。その際、冷蔵庫から出るタイミングと重なって扉とリフトに体を挟まれ、肋骨を骨折した。</p>	52	7	418	100 ~ 299
74	2017	3	4~5	<p>更衣室で着がえている時に床に倒れて頭を打ったと思われるが、目撃者もなく、被災者が会話不能のため、更衣室でどのようにして倒れたか不明である。被災者と同じ作業をしていた者は全員退社しており、残業は命令していないため、なぜ会社内に残っていたかも不明である。工場内休憩室の床に座り込んでいたため、社員が大丈夫かと声をかけたところ、大丈夫と答えた。更衣室で社員と会話をしたあと、清掃業者が更衣室を消灯した時には誰もいないようだった。その後、社員に倒れているところを発見される。</p>	75	99	999	10 ~ 29
75	2017	3	12~13	<p>本社で会議に出席した後、本社の向かい側にある喫茶店で会議参加者と昼食をしていた。そこで食べていた約5cmのブロック状のステーキが喉に詰まり意識を失って倒れた。同席者等が対処したが詰まりが取れず救急搬送された。</p>	59	90	911	100 ~ 299
76	2017	3	18~19	<p>ウインナーの充填作業中、3号ラインで作業していたが、2号ラインの調整を行うために3号ラインの自分の持ち場から離れ、2号ライン側へ身体を向けた際、被災者は、本来2号ラインで作業する位置とは反対側から機械を調整しようとした。パッキン取付部に指を入れ調整しようとした際、2号ラインの作業着が起動スイッチを押してしまい、充填ノズルとパッキン取付部に左手第五指を挟まれ被災した。</p>	27	7	165	500 ~ 999

77	2017	3	7~8	食鳥処理作業において、鶏の足（もみじ）を左手で持ち、右手に持っている包丁で勢いよく切断しようとしたところ、左手人差し指の第一関節爪側の皮膚に包丁の刃が当たり、皮膚の一部を剥ぎ落としてしまった。	21	8	364	10 ~ 29
78	2017	3	13~14	センター内洗浄室で番重を洗浄しているとき、バランスを崩して転倒し、左手を打ってしまった。当初痛みはあったものの様子を見ていたところ、徐々に腫れが増してきた。	51	2	921	100 ~ 299
79	2017	3	0~1	食用製品加工室で生食（ローストポークステーキ）のスライス加工時にスイッチをOFFにせずに振り返り、誤って回転している刃に触れてしまい、右手親指の爪側の先端を切った。	24	8	169	300 ~ 499
80	2017	3	11~12	製品の移動中、豚モツが床に落ちているのに気づかず踏んでしまい、滑って転倒し、左肘を強打した。	54	2	416	30 ~ 49
81	2017	3	18~19	退社するため2階から1階へ階段を下りているときに階段から足を踏み外し、上から4段目から踊り場まで転落して頭部を強打し、右足も捻った。	57	1	413	300 ~ 499
82	2017	2	14~15	パレットを積み上げている作業場でパレットの上の商品（鶏肉）を下へ降ろすため、パレットの上に上がり、5kg程の商品を持ったまま、高さ2m位あるパレットの上から飛び降りた。その時、かかとから着地し、足に痛みを感じた。	24	3	611	1~ 9
83	2017	2	16~17	原料の鶏を搬出の為、場内設置の冷蔵庫室内へ商品を取りに入った際、誤って足を滑らせて転倒した。臀部と腰部を強打した。当日は痛みがあったが終業時間まで勤務した。その後、痛みがひかない為、病院受診し尾骨骨折の診断となった。	35	2	418	30 ~ 49
84	2017	2	12~13	昼休みに帰宅するためロッカーへ向かう途中、トイレ前通路で滑り膝から転倒した。この事故直前には、トイレ清掃・清掃業務委託先が清掃しており、通路上の水拭きがきちんと行われておらず表面に残っていた水膜状態の中で発生したものである。	66	2	417	30 ~

				転倒時に直前を歩いていた者が気づき、その他数名の手をかり、しばらく安静の後、病院にて受診となったものである。				49
85	2017	2	15~16	食肉加工工場内のスライサー（肉を自動でカットする機械）の作業中に床面で足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、その際、右肘を強く床面に打ちつけ右肘を骨折した。	71	2	417	10 ～ 29
86	2017	2	5~6	工場にて、管理棟のトイレに向かう為、通路の階段を下りる際に右足首をひねり、右足甲に骨折を負う。	51	19	413	100 ～ 299
87	2017	2	13~14	被災者は、2期棟1階充填ラインで作業に従事していた。惣菜計量機を操作する為、2段のステップに上がる際、右足が2段目左足が1段目にある状態で左足が滑り胸を打った。ステップ右側には手すりがあり、つかまっていたが体を支え切れなかった。	59	2	413	500 ～ 999
88	2017	1	10～ 11	ブロイラー処理工場、生鳥の肩と手羽を切り離す作業をしていたところ、誤って右手に持っていた作業用メスで左手の薬指を切創した。	44	8	364	100 ～ 299
89	2017	1	8～9	加工場内第二加工室にて、ミンチ製造機械の試運転中、作業中に肉押さえのカバーが外れ、肉を切る刃とコンベアーの間に挟まった為、左手で刃を持ち上げながら右手でカバーを引きだしたところ、誤って左手を離してしまい刃が下りてきて、左手小指を切創した。	66	8	165	100 ～ 299
90	2017	1	12～ 13	充填室内において、金属製のタンク内へ約10kgのコーヒー牛乳の入った金属製の乳缶を持ち上げて注ぎ入れようとした際、勢い余って、タンク側面と乳缶の底部の間に、抱えていた右手小指を挟み、右手小指第二関節やや上部が1cm裂けた。	29	7	611	50 ～ 99
91	2017	1	17～ 18	仕事終わりにトイレ掃除を交代で行っており、トイレの床に水を撒いて床を拭いていた時に右足を滑らせ右膝を捻った。	67	19	418	10 ～ 29

92	2017	1	17～ 18	原材料の冷凍庫内で、原木をのせた棚台車を、作業員2人で冷凍庫に入れ棚を方向転換させる際、棚の持ち手ではなく枠をもって移動させ、右手小指が並べてあった棚と移動させている棚の間に挟まり、右手小指の打撲挫傷、中節骨剥離骨折を負った。	55	7	362	100 ～ 299
93	2017	1	16～ 17	配送用トラック（2t車）を倉庫前につけ、荷物を車内に入れようとしたところ、中に氷が散乱していた。ほうきでその氷を掃き終え、外に降りようと車のステップに足をかけたところ、滑ってしまい、アスファルトの地面に落下し、大腿骨を強打し負傷した。	67	1	221	10 ～ 29
94	2017	1	11～ 12	被災者は冷凍庫内で冷凍牛タン（1ケース約7kgのもの）19ケースをラックの2段目に手で積み上げ作業を行っていた。18ケースを積み上げようとした時に足を滑らし転倒し、腰椎圧迫骨折（横突起骨折）を負った。	67	2	418	—
95	2017	1	14～ 15	当社の包装室において、包装されてラインから出てきた商品入りの袋（約15cm四方、重さ70g前後）を、厚みを揃える潰し機のベルトコンベアに載せる作業中、ベルトコンベアに乗せた袋がずれていたため置き直しをした際に、ベルトコンベアと潰し機の間で右手が巻き込まれてしまい、受傷した。	64	2	169	100 ～ 299
96	2017	1	18～ 19	工場内で荷物を運搬中に足を滑らせ転倒し、右膝皿を骨折した。	36	2	416	10 ～ 29
97	2017	1	14～ 15	食肉加工室において、得意先より受注した豚ひき肉を製造作業中に、1次加工のグラインダーより排出となったひき肉を、2次加工のミートチョッパーに原料投入の担当をしていたとき、投入口に脂の付着を発見し、本来はつき棒を使用して落ち込みを行っていたが、左手で落とし込もうとして、スクリューに左手を巻き込まれ、左手半分を切断した。	63	7	165	100 ～ 299
				工場豚解体室において、枝肉整形作業台で枝肉の脊髄を除去す				

98	2016	12	16～ 17	るため、右手に脊髄除去具を持ち、枝肉の臀部から肩部に向けて除去具を上から下に動かした時、台下で同枝の肩部を整形していた別の作業者の右手に持っていたナイフに右腕が刺さり、右腕前腕部を刺創した。	46	8	364	100 ～ 299
99	2016	12	17～ 18	ブロイラー解体用作業台の上で、左手に骨付きモモ肉を持ち、右手に包丁を持って骨をはずす作業中に、誤って手を切った。	44	8	379	30 ～ 49
100	2016	12	16～ 17	セントラルキッチンの精肉厨房内で包丁を研いでいて、手の動作を誤って、左手人差し指を切ってしまった。	21	8	364	100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。